

第 193 回「河川文化を語る会」のご案内

【 川から見る東京 】

第 193 回「河川文化を語る会」は、初めての試みとして、東京の川を船で移動しながらの講演会を開催いたします。コースは「土木・河川工学コース」と「江戸・東京歴史コース」の 2 つ。

川面から見る東京には新しい発見が満載です。ぜひご参加ください。

■ 開催日 平成 29 年 9 月 5 日 (火) ※ 雨天決行 (豪雨、強風の場合は中止)

■ コース

A【土木・河川工学コース】

- ・ 開催日 平成 29 年 9 月 5 日 (火) 10 : 00 出発 12 : 30 帰着 (集合 : 9:40)
- ・ 講師 松田 芳夫 (公益社団法人 日本河川協会 副会長)
- ・ 講師略歴 建設省河川局 OB 江戸っ子

<講師からひと言>

小さな神田川・日本橋川と大きな隅田川とを見比べられます。
多種多様な橋を沢山くぐるので、橋の物知りになれますよ。

B【江戸・東京歴史コース】

- ・ 開催日 平成 29 年 9 月 5 日 (火) 13 : 30 出発 16 : 00 帰着 (集合 : 13:10)
- ・ 講師 宮 加奈子 氏 (株式会社 建設技術研究所 国土文化研究所)
- ・ 講師略歴 「江戸東京再発見コンソーシアム」の舟めぐり・街めぐり事業の企画運営を担当
江戸東京の水辺リバーガイド歴 8 年

<講師からひと言>

江戸の文化の発祥地の一つともいえる隅田川や日本橋川、神田川、小名木川などの東京の都市河川。現代の風景の中で、今も江戸と同じ流れを辿って流れているそれらの川たちを、街から 4, 5 m 降りた水辺から舟に乗って一緒に眺めてみませんか。
いつもとは違う東京の顔に出会えるはずです。

● A・Bコース共通

- ・ ルート 神田川 → 日本橋川 → 隅田川 → 小名木川 (扇橋閘門) → 神田川
- ・ 集合場所 「屋形船 三浦屋」乗船場 (台東区浅草橋 1-1-10)
(JR 浅草橋駅から徒歩 2 分, 都営浅草線 浅草橋駅 A-2 出口から徒歩 1 分)
- ・ 船には水洗トイレ、屋根テント、救命胴衣を完備しています。また、傷害保険に加入しています。

■ 募集人数 : 各コース 40 名 (抽選) ※18 歳以上

■ 参加費 : 日本河川協会 二種正会員(個人会員)および学生 : 無料

一般の方 : 1,000 円 (保険代・資料代として、当日現地にてお支払いいただきます)

■ 申込方法 : 必要事項 (①参加希望コース (A または B) ②名前 ③個人会員/一般の別 ④職種 ⑤E-mail または住所 ⑥電話番号) をご記入の上、はがき、FAX、E-mail (kataru@japanriver.or.jp) のいずれかでお申し込みください。抽選の上、8 月 21 日以降、当選者のみ連絡させていただきます。

■ 申込締切 : 8 月 18 日(金) 必着

第 193 回「河川文化を語る会」参加申込み

日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 行

FAX : 03-3288-2426

※は必ずご記入ください。

| | |
|--------------------------|---|
| 参加希望のコース※ (いずれかにチェック) | <input type="checkbox"/> A【土木・河川工学コース】 ・ <input type="checkbox"/> B【江戸・東京歴史コース】 |
| (ふりがな)※ 氏 名 ※ | |
| 個人会員・一般※ (いずれかに○) | 二種正会員(個人会員) ・ 一般 ・ 学生 |
| (勤務先) | |
| 職 種 ※ (いずれかに○) | 建設コンサルタント ・ 建設会社 ・ その他民間企業 ・ 行政 財団/社団 ・ NPO 等川や水の活動団体 ・ その他 |
| E-mail | |
| 住 所 (E-mail のない方※) | 〒 |
| T E L ※ | |
| F A X | |

ご連絡いただきました個人情報、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます。

※ 当選された方には、天候等による開催中止の場合の緊急連絡先（日中つながる電話）をお伺いいたします。

【お申し込み・お問い合わせ先】



公益社団法人 日本河川協会

〒102-0083 千代田区麹町 2-6-5 麹町 ECK ビル 3F

「河川文化を語る会」事務局 担当：高木、萩原

TEL : 03-3238-9771 FAX : 03-3288-2426

E-mail : kataru@japanriver.or.jp

当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。



河川 当講演会は、公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。